

## ケミカルピーリング

のもと皮膚科クリニック 野本 真由美  
(2006年10月2日放送)

Q にきびで悩んでいる方が多いそうですね？

A 赤く膿んだ大きなにきびはもちろんですし、それが例え小さくて数が少なかったとしても、次々と新しいものがでてくればその方の悩む気持ちはとても大きいものだと思います。

Q ケミカルピーリングとはこういった治療なのでしょうか？

A ケミカルピーリングというのは、皮膚に酸性物質を塗布して、その作用により皮膚の表面を一定の深さで剥脱させることで皮膚の再生を促すという治療です。

Q ケミカルピーリングはいつごろ生まれた治療ですか？

A アメリカでは“若返り”の治療”として、1960年代から多くの医療機関で行われてきましたが、日本では1990年代から導入されて、主ににきびの治療に用いられています。

Q にきびの治療以外でケミカルピーリングを行うことはありますか？

A 毛孔性苔癬、炎症後色素沈着、日光性色素斑、雀卵斑、肝斑などに適応があります。また皮膚の再生するサイクルを早めることからくすみや小じわといった、いわゆる加齢に伴う皮膚トラブルに対しても効果があります。

Q 皮膚の表面を剥がすということですが、痛みはありますか？

A ケミカルピーリングは使用する薬液の種類や濃度、PHを変えることによって皮膚に作用する深さが違います。あまり深いピーリングを行いますと、炎症も傷あとも大きくなるため、色素沈着や瘢痕などのトラブルを招きやすくなります。そのため、日本で行われているピーリングは角質層といわ

れるごく浅い層にのみ浸透する薬液が多く使われていまして、こういったピーリングでは、ピリピリする程度の痛みはありますが、麻酔を使う必要もありませんし、赤みが何日も続いたり、かさぶたができてテープで覆うという必要もありませんので、安全性の高い治療だと思います。

Q 治療のあとすぐにお化粧をしても大丈夫ですか？

A 治療後すぐにお化粧をして帰ることができますので、アメリカでは仕事の休憩時間に治療を受ける、「ランチタイムピーリング」という言葉があるくらいです。

Q 浅いところにある角質層を取り除くだけでにきびがよくなるのはどうしてですか？

A にきびの一番の原因は、毛穴がつまってしまうことにあります。脂性の方がにきびになるというイメージがあると思いますが、皮脂腺から分泌された皮脂が多いだけではにきびにはなりません。多くの皮脂は毛穴から外へ出ますので、その出口がつまってしまうとにきびができます。この毛穴をふさぐ角質をケミカルピーリングで取り除くことで、皮脂をスムーズに毛穴の外へ排出し、にきびの新生を抑えることができます。また、皮膚はこの角質層の外的な条件によって、新しい表皮細胞を次々と作ることができますので、浅いピーリングでも表皮全体、あるいは真皮というさらに深層まで再生を促す信号を送ることができます。この作用を利用して、これまで治療が難しいとされていたにきび痕の治療も行うことができますし、何よりにきびだけではなく肌全体がきめのそろったきれいな肌になるのがうれしい点ですね。

Q 治療にはどのくらいの期間がかかりますか？

A 2週間ごとに6回程度治療を行いますと、個人差はありますが、次々とでくる新しいにきびができにくくなってきます。にきびあとの治療になると、10回以上は治療が必要です。それから、来院された際にまずにきび治療の要となるスキンケアの見直しをしますが、これがとても大切です。スキンタイプにあった正しいスキンケアをすることは、ケミカルピーリング後もにきびを再発させないようにするために必要不可欠です。